

第8回「小中高生新聞切り抜き作品コンクール」高校の部で最優秀賞を受賞

幼児虐待をテーマに新聞を切り抜き、B紙1枚にきれいにまとめ「小中高生新聞切り抜き作品コンクール」で最優秀賞に輝いた酒井さん。記事を集めていたときに幼児虐待の記事が多く、とても衝撃を受けたことがきっかけになりました。昨年の夏から記事を集め、半年かけて作品を完成。レイアウトは自分で考え、切り抜いた中からいいものを選んで、ストーリー性を持たせて作りました。

将来は「子どもの話をしっかり聞きながら会話を広げていける保育士になりたい」と話す酒井さん。もともと子どもが好きで小学生のころから保育士にあこがれ、中学生のときに職場体験で保育士の仕事を経験してからさらに夢が膨らんだと言います。

酒井さんは「温かい家庭で育ててくれたことを両親に感謝したいです。虐待が増えているのは親子のコミュニケーション不足が原因では。もっと子どもに心をぶつけてほしいです」と家庭の大切さを語ってくれました。



● 酒井久美子さん (篠目町/安城東高3年)



野草歳時記

134



ジシバリ
〔キク科〕



地面をはう茎から根が出て広がっていく様が、「地をしばる」ように見えることからこの名がつけました。畑のまわりや野原にもありますが、相当高い山の道端でも見かけます。

健胃薬として乾かした全草をせんじて飲む習慣が伝わっていますが、もう今では一部の地域だけの貴重な文化伝習です。魚の骨がのどに刺さった時にも同じ用法がよいと言われてます。

写真・文/三井亨氏<城ヶ入町・安城市文化財保護委員>

安城の野鳥

157



森の歌い手として知られ、そのさえずりはとても音量があり、聞いているだけでとても和みます。市内では春と秋の渡り時に公園や神社の森で見られますが、春にはそのさえずりもまれに聞くことができます。三河山間部で繁殖していますが、その繁殖地は局地的で、

低山でも繁殖しています。

写真・文/杉山時雄氏<桜井町・西三河野鳥の会会員>



クロツグミ
ーツグミ科ー